

海洋研究開発機構の見学会



海洋研究開発機構 (JAMSTEC) は、地球を、海洋を中心に構成された惑星としてとらえ、深海探査、海洋観測、海域に発生する地震・火山噴火や、温暖化などの地球変動現象を解明するための様々な研究、技術開発等を実施しています。

「しんかい 6500」などが有名ですが、新杉田にある地球シミュレーター (スーパーコンピューター) もここが所有しており、温暖化や気候変動予測による貢献で、昨年は IPCC のメンバーの一員としてノーベル賞を受賞しています。

今回は、追浜にある本部を訪問し、調査・研究活動の概要と、地球温暖化を中心に成果をご説明戴き、研究施設の見学をお願いしました。

機構の概要説明に続き、南米チリからオーストラリアまでの太平洋を輪切りにした詳しい海洋調査の結果をご説明頂き、まとめとして海水温度が上昇していること。また、大気中の CO₂ は毎年 1.9ppm 増加しているが、海水が吸収した CO₂ の影響により海水のペーハーも 1975 年から約 0.1 減少し酸性化していることから、このまま進むと、貝類が貝殻を作れなくなるなど生態系の変化が懸念されると聞き、改めて温暖化の影響を実感しました。その後、退役した「しんかい 2000」などの施設見学を実施しました。